

来た・来た・春だ!

ティーナー

花々のつぼみも 樹々の芽もふっくら



大雪の泉ヶ岳。スッポリと雪に閉ざされ、この冬は読書と陶芸活動に専念しました。除雪機を駆り立て、駐車場を二時間かけて整備する日々も二月ほど続きました。完全除雪の具道も凍てつく日々が何日もあり、こんな天候の中でも甘酒・にごり酒・ランチを求めてたくさんのお客様においでいただきました。春の風に誘われ、今朝は水芭蕉の自生地まで足を伸ばしてきました。花々の盛りはまだ二週間ほどかかりそうです。

春の野菜

五月より販売



無久庵で採種した種を三月末から播種し、五月中旬より野菜の中心類・根菜類・葉もの野菜を中心に完全有機栽培・無農薬栽培の野菜づくりに取り組んでいます。お客さまから例年注文が殺到します。お客さまから例年注文が殺到します。お客さまから例年注文が殺到します。お客さまから例年注文が殺到します。

案内板

会員のための得々コース 4月22日まで延長



4月 山菜特別ランチ お食事メニュー(和風中華そば)

■早春を装うつわ展 陶芸得々コース開設 珈琲無料優待券贈呈 体験陶器お渡し

5月 薫風特別ランチ お食事メニュー(ざるそば) 体験陶器お渡し

6月 夏野菜特別ランチ お食事メニュー(ざるそば) ■青葉を彩るうつわ展

7・8月 薫風・お茶会 陶房ゆとり炉展 お食事メニュー(ざるそば) 親子陶芸体験企画 陶芸得々コース開設

水・木・金のみ開催 好調!カルチャーの日 要・予約・相談

無我久庵のアトリエ・陶房・茶室をグループで楽しむ企画。会員の皆様に使用の方はあなた方グループ次第です。同封のチラシをご覧ください。ご自分たちでステキな山暮らしを一日、演出してみたく企画です。今年で三年目。楽しみに満載の団らんを、誰の干渉も受けずに、丸々楽しむオシャレな会員が、たくさんいらつしやいます。

薫風・茶会

離宮・無我久庵茶室



山里でゆつくり抹茶を楽しみたい、との声にお応えし、茶会を企画致しました。 期日 6月中・要予約 お点前と懐石膳がご賞味いただきます 会費 千五百円 時間 午前10時〜12時 (10名) 午後2時〜4時 (10名) 参加者数によつては、中止。

春の窯開け 新作うつわ多数

数に限りあり・お早めに

昨日から陶して参りました作品の数々を、素焼き・本焼きを経て、いよいよ窯出しを行います。地震の被害でお店も少し修理をし、販売いたしました多数の作品を常設展示して、お分けしております。平常価格の二割引で

花に嵐のたえもあるさ、 さよならだけが人生だ 鯨二

桜の花への想いには多くの文人・作家の名作が残されています。

大雪の一日、除雪の手を休め、厳寒の中から数本の山桜の枝を剪り採り、大鉢に付けてみえました。氷点下十度を下回る山裾の地から伐り採られた山桜。エアコンとストーブの燃えさかる囲炉裏端で、桜は永い眠りからの目覚めを体験します。三月一日の事でした。式典のため礼服で庵を出る朝、桜は見事な花を一輪咲かせております。昨日、上野の桜は満開との報せ。やがて、必ず訪れる春の嵐で、ちりちりに花吹雪となります。

江戸時代の学者・頼山陽は老いた母親を背負い吉野の里に桜見物に出かけました。母親は背中で頼山陽にお礼を言い、あまりの見事な多数の桜の花々に絶句したとのこと。この感激を頼山陽は、目を閉じ、開けたとたんに数千本の木々が目に入ってきた。この光景は「一目千本」と思いを語っております。

厳寒の気温に当て、そして暖かさに当たってこそ桜は咲くものです。苦勞の末に、春に人生の華を咲かせるのにたとえられ、講話の題材にもマタギは利用しますが、四季のないところでも桜は実は咲いています。苦勞もせずにかもしれません。なんとも不愉快な桜ですが、「人は人なれ。花は花なれ。」と見過ごすことにしています。

ゆとり炉無我久庵 泉ヶ岳山麓 陶芸教室ゆとり炉 長命ヶ丘 泉岳窯ゆとり炉 泉ヶ岳離宮

